

雪ん子ブログの目次

2012,2013 年度項目別目次 雪ん子ブログ、2013 年度 : No. 295-450 2012 年度 : No. 1-294

政治、行政、環境・社会資本、街づくり、経済・商業、報道、教育・報道、専門家、学術、技術、防災、原発、文化・歴史、社会、組織、人間、市民、若者、子ども、通念、意識、思考、コミュニケーション、生活、仕事、連携、スポーツ・体、娯楽

◆ 1. 政治

- 14.03.28 市民センスの政治の学校、大いに期待したい、447
- 13.12.23 地方の議会選挙について政策よりも地域のつながりがものをいうようだ
- 13.12.14 特定秘密保護法制定は誰のためのもの、国民はのぞんでいないのに
- 13.11.08 贈収賄はなぜくりかえされるのであろうか
- 13.08.20 政治家は物事がよくわかってくると国民の顔が見えなくなる、って本当か
- 13.07.30 増税の理屈には必ず福祉に使うからとっているが、その実際はそうではない
- 13.06.26 政治家の暴言・失言の背後にあるものは何か
- 13.05.03 ふるさと納税って他の方には増税につながることもなる

◆ 政治

- 13.02.09 デフレ脱却でも、(格差等)問題が解決するとは思わない
- 12.12.07 脱原発としてみたり大連立をおおわせたり、どうせ政治ゲームでしょう
- 12.11.09 政治家とは教育して育つものなのか
- 12.11.06 政治家は政争が仕事ですか、理念やビジョンは、国民の顔が見えますか
- 12.09.22 農業よりも工業商業が優先の政策はいいのか
- 12.08.07 政府には国民を犠牲にしても原発を進める姿勢が垣間見られる
- 12.08.03 政府が望むのは「ものをいわない・行動しない」人間のようですね
- 12.07.17 政府とは信用に値するものなのかどうか、状況が悪くなると本性が現れる
- 12.02.15 政治家は官僚のいいなり、なぜ
- 12.02.14 政治家や官僚は大事な問題に対しウソを吐きとおすことあり
- 12.01.27 政府はもっと国民視点を、原発事故対応について
- 12.01.23 政府の不適切発言はなぜ撤回されないのか。だから市民直接参加のガバメントを
- 12.01.18 消費税増税にあたり政・官も国民と一緒に痛み分けというが
- 12.01.17 食肉輸入自由化を BSE 問題
- 11.12.26 首長を選んだのは市民というが
- 11.11.29 橋下氏の大阪の陣によせて、地方自治の独自形態について

◆ 2. 行政

- 14.03.21 行政のパブリックコメントに思う、何かのせられているだけなのか、446
- 14.03.17 地方自治体の地震や原子力の防災計画について市民視点を 445
- 14.02.24 行政はもっと広い視野で施策を、地震防災を例に
- 14.02.22 行政は市民の声を本当にすいあげて欲しいが
- 14.01.26 パブリックコメントは機能しているのだろうか
- 14.01.22 文化行政の真価が今後問われてくる
- 14.01.21 地方自治体の「前例がない」は消極的姿勢そのものでは
- 14.01.20 空家対策、雑感
- 14.01.11 高級官僚はどこを向いて仕事をしているのか、かつての国鉄を例に今は
- 13.10.31 心ある行政マンが住民主催の勉強会に出たら処分されたって
- 13.10.23 役人の視線が市民に向いていなければいいが
- 13.10.12 行政はいまなお仕事をコンサルに丸投げしていますね
- 13.10.11 タウンミーティングを垣間見る
- 13.10.09 タウンミーティングにおける市民参加の意味はどこにあるのか
- 13.08.08 高級官僚のセンスは若いうちはまだ健全である
- 13.05.06 行政とコンサルタントの技術能力レベルは一般に低い

◆ 行政

- 13.03.14 公務員は仕事に何を求めて満足するのであろうか

- 13.03.11 最近の道路標識が絵入りの大きなものになっている功罪は如何に
- 13.01.21 市民の種々の現場には顔を出すことが少ない行政幹部の面々
- 13.01.07 役人は栄転先では古株の方をまず味方につけて
- 12.12.31 町の行政センターもなにか他所の感じがすることあり、なぜ
- 12.12.01 市政は一体誰のためのもの、企業が入り込んでもいいという考えはいかがなものか
- 12.11.25 官庁でも出先は中央にはものを言わず(言えず)
- 12.06.13 地方の役所は至ってのんびり、都会のお多忙とどっちがいいのか
- 12.06.11 行政など、無駄の点検ではなく必要性の程度の点検ではないのか
- 12.03.17 県政ミーティング、県知事の役割は(3)
- 12.03.16 県政ミーティング、身近なコミュニケを(2)
- 12.03.15 県政ミーティング、県政をもっと身近に(1)

◆ 3. 環境

- 13.04.24 木燃料ストーブ多用の社会的な意味するところは何であろうか、反現代か

◆ 環境

- 13.03.13 環境を台無しにする観光地化の本質は売らんがための経済活動の一環である。
- 13.02.25 原風景と人間模様を如何に堪能するか、そこでは専門家はまず人間であれということ
- 13.02.22 環境を美しくとっている一方では環境破壊が横行している
- 12.08.15 震災でプラスチックゴミが始末におえない
- 11.12.28 自然を求めるのではなく自然の中に居ること
- 11.11.30 アセスメントやヒアリングに思う

◆ 環境・社会資本

- 13.10.17 動物園の今日的必要性とは
- 13.10.15 国道41号線はノーベル街と呼ばれているが
- 13.10.10 公共施設の新築改築の意味を考える

◆ 4. 街づくり

- 14.03.29 街づくりは相互尊重の長期ビジョンを持ってすべき、448
- 14.03.10 観光を真に社会づくりとして進めるには 444
- 14.01.18 街づくりでもまずは交流としてのコミュニケーションから
- 14.01.17 街道を基軸にした街づくりについて雑感
- 13.12.24 市民と有識者の接し方について、山里の街づくりから
- 13.11.23 街づくり、外部からかき回して欲しくないという
- 13.11.22 中心商店街、マンパワーや知的支援のないところに活性化なし、イベントもそれなりに
- 13.08.22 人と話するのがいやだけど街づくりをしたいという方がおられました
- 13.08.15 まちづくりというとすぐアートとっているが
- 13.07.22 理念のない(街づくり等)活動はダメというが、理念を作り上げるのも活動そのもの
- 13.05.12 街づくりなどに行政からの派遣アドバイザー制度は必要なのか
- 13.05.07 ワークショップって本当に市民参加型になっているのだろうか
- 13.04.23 街づくり、人は楽しければいいのではなく人や社会とのつながりを求めている

◆ 街づくり

- 13.03.27 街づくりでは一過性イベントでもまずやってみて意味等を実感していこう、
- 13.02.15 街づくりや人づくりについて若い方々の情熱はすこぶる熱い
- 13.02.10 街づくりもビジネスチャンスととらえる若い方が多いが
- 13.01.13 街づくりでは著名人による講演ばかりでなく地元民発掘としてショートトークを
- 12.12.19 街づくりにおいて地元の方を大事にしない行政の都会志向
- 12.12.08 街づくりには歴史が大事だが、若者は先にパッションを
- 12.12.06 街づくりは誰でも平等に参加すべし
- 12.09.27 観光の効率優先や便利さの追及は文化財保存や街づくりには困りもの
- 12.08.21 街づくりには地域密着型でコミュニケーションやたむろの場を
- 12.08.05 街づくりは地元民主導で。行政やコンサル手動は街をダメにすること多し
- 12.02.13 まちづくりワークショップはあくまでも住民主体で
- 12.02.12 街づくりの視点とは、なぜ「街づくり」が必要なのか

11. 12. 14 まちづくりは日常の視点から

◆ 5. 経済・商業

13. 11. 16 広告媒体として車両をつかう商業主義には息が詰まりそう

13. 07. 26 まがい品もあければ満足するとはどんな意味なのか、アウトレット考

◆ 商業

12. 12. 28 経営コンサルタントになぜコンサルをお願いするのか、その意味は

12. 11. 11 自販機で、客のニーズに応えるよりも売れ残りをださないようにという驚くべき商法ここに有り

12. 07. 04 販売員は買っていただくことの意味よりも売ればよいだけといていた。

12. 08. 30 田舎の方の親切も商業主義は目ざとく売り物に

12. 08. 29 商業主義はスポーツマンシップよりも見世物提供◆ 6. 報道

14. 02. 21 興味本位の報道とは何か、ネガティブコミュニケーションの蔓延へ

14. 01. 09 地方ニュースふるさと番組を批評する

◆ 6. 報道

13. 03. 30 被災地での出来事があまり報道されていません

12. 12. 13 放送で伝えるとは一体何を意味するのであろうか

12. 07. 21 真実を報道しながら報道機関

12. 07. 10 市民デモを無視する原発推進、マスコミ報道に見る市民無視の理屈

12. 06. 14 地方の新聞について大名商売の気質もときおり垣間見られるが

12. 03. 06 専門家と報道とのタイアップで

12. 01. 13 地方における地域共同体的な意識——地元志向の報道をどうみる

◆ 7. 教育

12. 02. 13 最近の学生はプレゼンがとてもうまいが

14. 02. 11 大学はおおらかさを失わないで欲しいが

14. 02. 05 一部の講演会やシンポではホスト側のやりましたといった雰囲気を感じられることもある

14. 02. 03 最近のモダンな学校では子どもの行動が規制されている、こんなことがあっていいのか

14. 02. 01 文科省の英語教育推進は偏狭な政策の一環。視点をもっとグローバルに

14. 01. 15 大学の学生募集も結構なりふり構わないところあり

14. 01. 03 放課後スクールに異業種参入の加速の兆しあり

13. 11. 05 教育現場におけるアウトソーシングは必要か

13. 08. 27 講演会やシンポで受付や裏方の方も会場の中にて話を聞くべし

13. 08. 25 成功ストーリーの講演会が多く、成功に学べというが

13. 08. 24 初等中等教育でわからない子の放置を前提とする教育があつていいのか

13. 07. 29 錯覚っておもしろいです

13. 07. 10 授業での成績評価について客観評価をというが、直観評価は不可能か

13. 07. 08 某大学の超エリート教育ではどんな人間が育つのであろうか

13. 06. 30 日弁連がいじめ問題や体罰問題について全国の高校に出前授業をするが

13. 05. 14 本を読むなら序文の面白いものかいい

13. 05. 09 学力で専攻分野を振り分ける教育システムは今もなお続く、どうして

13. 05. 05 子どもの能力育成には幼年期の親がつくる環境に影響

13. 05. 04 しもじもの話に関心を示された学府の大御所

13. 05. 02 大学の入学式に親が参加する意味は如何に

13. 04. 22 教育にはスキルものが多いが批判精神や志の育成なるものではないのか

◆ 教育

13. 03. 21 持続可能性を探るのはいいが、持続可能な教育って何ですか

13. 03. 08 最近の防災教育に思う、社会性については

13. 03. 03 卒業式の厳粛さはもともと何に由来しているのであろうか

13. 02. 19 講演で聴衆を感動させたいものである

13. 02. 04 講演会や展覧会で著名人を呼ぶのもいいが地元の人にもっと登場機会を与え人を育てるべし

13. 02. 01 無名人が講演ひとつするにも社会に働きかけて初めて可能。社会を変える自己ビジュアル

13. 01. 24 勉強や仲間づくりをなぜするのか、それはアウトプットとしての活動のため

13. 01. 08 講演会は聴衆と講師の無意識なコラボレなり

- 12. 08. 23 大学院進学は社会の成熟によってはじめて加速する
- 12. 08. 20 あいかわらずエリート教育はスキル本位、だから責任を取るリーダーが出てこない
- 12. 07. 07 教師には教育技術もさることながら人間性の向上を
- 12. 06. 23 教育の序列が意識の中にしみこんでいく、某県にて
- 12. 06. 10 高校の秋卒業に道を開くというが、雪ん子 114
- 12. 05. 30 保育園が駅舎の一階にできたて便利になったが
- 12. 02. 18 学校教育でダンスなどが必修になるって
- 12. 01. 28 エリート・リーダー育成について思う
- 12. 01. 25 大学の秋入学は国際化の一環というが
- 12. 01. 22 分からないということはどんなこと？教育現場から

◆ 研究

- 13. 02. 24 共同研究の成果をだれのものするかでもめること多し
- 13. 01. 12 論文の著者をめぐってトラブル多し

◆ 8. 専門家

- 14. 02. 19 実務者の日常業務と研究をリンクさせる支援のあり方について
- 14. 02. 02 小保方さんの報道にみる学術の社会性の意識について
- 14. 01. 28 正義は和を乱すという風土に守られて専門家の不誠実が横行
- 13. 07. 19 小さな専門実務系団体での皆さんの意識について
- 13. 07. 05 自分の思いを通すなら人任せにはしないこと、専門委員会設置で
- 13. 06. 27 専門性を生かしたボランティアとして、専門の社会性について
- 13. 05. 11 専門家の層の薄い地方では専門家の無知が間違公言となって世に伝わっていく

◆ 専門家

- 12. 12. 30 専門家は市民の声の意味が分からない狭い思考をする
- 12. 09. 21 各種委員会では結論ありきのもとでの委員選考か
- 12. 07. 23 市民のことを思わないご都合主義な一部の専門家について

◆ 9. 学術

- 14. 01. 07 学術や史実の解釈が意図的にねじ曲がること有り
- 14. 01. 06 事実が意図的に捻じ曲げられることあり、「富山ある常願寺川は川ではなく滝である」と
- 14. 01. 04 富山にある立山カルデラの学術解釈と一般の受け止め方が違う

◆ 10. 技術、

- 13. 07. 31 学術団体の講演会において技術の社会性があまり問われていなかった
- 13. 10. 16 技術者倫理というが、技術者の何が倫理を必要とするのだろうか。

◆ 技術

- 13. 03. 20 技術革新は国民のためのものよりも経済成長戦略の一環か
- 13. 01. 29 温風タオルにみる省エネ技術に根本的考え違いがある
- 13. 01. 17 コンピューターはどこまでやれるか(人間にどこまで迫れるか)
- 13. 01. 16 途中のプロセスを省略した即席対応では大成せず、ラーメンの味付けの例
- 12. 12. 24 サステイナブルの名のもとにメンテナンスの形骸化を憂いする
- 12. 12. 10 工学の問題で検討とは一部の方に都合のいい結論ありきのものか、活断層議論
- 12. 10. 17 車技術について事故回避自動システムよりも安全運転支援システムの発想がない
- 12. 08. 31 技術が抱える欠点とは何か、技術が真に市民のためになるには

◆ 11. 防災

- 13. 10. 07 津波の教訓「稲むらの火」にみる住民避難の描写が日本と外国とで違う
- 13. 10. 02 災害には日常からの備えとして前向き姿勢の環境づくりを

◆ 12. 原発

- 14. 03. 05 原発事故に見る技術者や市民の本質をわきまえた論議は 443
- 13. 11. 14 経済性の行き着くところはあくまでも数値の合理性か、原発事故対応にみる
- 13. 10. 04 国は某電力会社を国有化したというが国有の意味をわかっているのかどうか
- 13. 09. 14 どこまでいっても責任を取らない巨大無責任体制、原発事故に見る
- 13. 08. 16 原発事故放射能では「市民が不安」ではなく「市民が危険に」というべきでは
- 13. 08. 09 いまでも隠ぺいのごまかしを押し通す企業、原発事故の汚染水

13.06.28 死者の出ない事故はたいしたことなしを標榜する政治家や技術者の発言の意味は何か

◆ 原発

- 13.01.23 あいかわらず原発事故が矮小化され、原発推進の動きが静かに進行している
- 12.12.20 いい環境とは、放射能汚染とどう向き合うのか
- 12.12.15 原発で迷惑をかけ危害を加えているという事実の受け入れができない企業論理とは
- 12.11.10 福島原発事故の二次被害がほとんど報道されず
- 12.09.09 原発ゼロを国民が選択したことの報道について
- 12.07.30 安全性が上がれば惨事がおこらないという理屈とは、惨事の回避は抜本的対応で
- 12.07.29 震災ガレキでも補助金ほしさの地方自治体、とんでもない理屈をつけて
- 12.07.25 原発事故復旧には下請けに危険と責任をなすりつけ
- 12.07.18 電力専門家の矮小なひたむきは世のためにならず
- 12.07.09 原発事故の反省もせず、それいけどんどん
- 12.07.03 株主総会に見る原発事故無反省の経営陣
- 12.06.17 原発再稼働；総理の説明があるなら国民からの説明もあるべき。政治家他よく聞くべし
- 12.05.31 原発再稼働は国民の安全を無視しているのになぜまた
- 12.04.17 国民に理解を得ると原発推進派は言うが
- 12.02.29 原発事故、政治家・行政官僚にもの申したい
- 12.02.10 原発事故以降、いまだに不可解なことあり、報道はもっとタッチすべし
- 12.02.06 原発関連、専門家の意識向上を
- 12.01.29 原子力対策本部や緊急災害対策本部の会議事録つくらず、問題対処能力の貧困さを憂う
- 12.01.19 それでも原発を稼働させたいのか、一部の有識者の良識はどこに
- 11.12.18 原発事故の収束宣言に思う
- 11.12.16 原発事故、根源的な議論を
- 11.12.06 事故、事が大きくなればなるほど世の中に無力感漂う
- 11.12.01 原発地域の自治体における補助金依存性について

◆ 13.文化、歴史

- 14.01.27 歴史的事実であるかのような創作が伝説としてまかり通る
- 14.01.24 根拠のない史跡指定の解除の動きには地元は大波乱
- 14.01.23 間違った史跡指定が結構あるのではなかろうか、木曾義仲伝承を例に
- 13.11.21 文化財に匹敵する多くの名建築が壊されることを憂いております

◆ 文化

- 13.03.12 根無し草文化も文化なのであろうか、憂いする。
- 12.11.08 伝統を論ずるにはパイオニアスピリッツも
- 12.08.14 毎年続けている年中行事も50年たてば立派な無形文化財
- 12.06.19 日常生活からみたお茶の文化、日本茶がもっともてはやされてもいいのに
- 12.05.28 文化のグローバル化とは強い文化が弱い文化を吸収することか
- 12.04.09 祭りの今後について、観光と伝統の二面について
- 12.04.08 伝統をいまなぜ声高にしているのか
- 12.02.26 文化の議論が盛んだが、聞いた話です

◆ 14.社会(市民感覚)

- 14.03.04 学歴主義は無用論を尻目に重くのしかかる 442
- 14.02.08 地方をかき回す都会からの息吹も長年たつと元のもくあみになりそう
- 14.01.16 サラリーマンは流動層として捉えられているのでは
- 13.11.11 偽り表示に偽り発言、偽りにならされている風潮が気にかかる
- 13.11.07 効率優先としてアウトソーシングや人減らしが何の違和感もなく進行しているが
- 13.10.29 自動車の保険について有難いけれども何事も金次第の面もありますね
- 13.08.06 間違っって思い込まされていることって多い、注意すべし
- 13.07.18 効率は何に対して求められているかが問題だ
- 13.07.16 試験の得点イコール客観評価は競争社会の産物か
- 13.07.11 世の中、公式発言の際にも「思います」という苦し紛れの表現をする
- 13.07.01 賢すぎる方を孤立させないようにしたいものである

- 13. 05. 16 仮想現実の危険性をいかに克服するのか
- 13. 05. 15 相対立する勢力のうち一方が勝てば、負けた方が無能で負けるべくして負けたと宣伝される
- 13. 05. 10 学歴無用といっても依然残る学歴評価主義
- 13. 05. 08 地域貢献は出世のためのポイント稼ぎという人が多いのにはびっくり

◆ 社会（市民感覚から）

- 13. 02. 27 大学教員の優越意識、今も昔も変わらず
- 13. 02. 20 不必要なアナウンス音の洪水が人の行動自主性を奪い人との関係性を遮断させるのでは
- 13. 02. 12 市民参加の裁判員制度は事の本質にふれさせない危険なものでは
- 13. 02. 02 ささやかな市民の創作活動をいぶかる社会、静かに定着か
- 13. 01. 27 友人から寄せられた雪ん子ブログの感想です、雪ん子特別版
- 13. 01. 19 風評とは何か、市民の社会に対する行動とみる
- 13. 01. 18 かつてはアメリカは自由の象徴と映っていたこともあったが
- 12. 12. 26 有能でも無名な方には道を開くよう（社会が）努力することは少なし
- 12. 12. 18 何かにつけすぐに欧米とっているが、欧米ではなく、米のこと
- 12. 12. 17 騙されまいと思っても騙される時はどんな時か
- 12. 12. 16 走る車に遠慮する通行人
- 12. 12. 05 暇だからバイトをすることの本質的な意味とは
- 12. 12. 04 経済的環境が伴わない場合には物質的なものよりも精神的な豊かさをいうのは弱者切り捨て
- 12. 11. 29 災い転じて福となすパラダイムシフトがなぜおこらないのか
- 12. 11. 07 地方の美術館や博物館が整理統廃合の波に洗われている
- 12. 09. 23 負け組みのケアというがその意味は
- 12. 09. 10 盛んな世直し論議に加わっていない方々にどう働きかけていくのか
- 12. 08. 10 若者労働者の削減による穴埋めとして格安のシルバー労働者をあてがっている
- 12. 05. 27 経済成長と幸福度について
- 12. 02. 08 天下りに対して子会社一筋の方々が空虚さを感じるという

◆ 15. 組織

- 14. 02. 18 若者の発想は本来健康的。それが潰される。組織に入所の若者を例に
- 13. 12. 19 多くの組織では対外的ステータスに配慮して自由闊達な運営がしにくい
- 13. 10. 27 名前だけの役員がなぜ多いのか
- 13. 10. 25 ボランティア団体どうしの連携について、勉強集団の場合
- 13. 10. 21 通常どこの団体でも団体幹部と一般会員とのあいだにコミュニケーションの溝がある
- 13. 10. 14 若者ボランティア会では皆さんリーダーとして活動したいものだから、会の分裂は避けられなくなる
- 13. 08. 26 事務系の仕事を創意工夫のないものと見下す有識者が今も多いようだが
- 13. 07. 21 事あるたびに企業や事業体の体質が問題とされているが、議論はそこで止まっている
- 13. 07. 17 種々団体のつまらない総会で、一般参加者からスピーチを提案
- 13. 07. 09 企業や団体の種々委員会や運営会でも、役員になりたい人には役員にさせない
- 13. 07. 04 ボランティアやNPOでも小さな会ではどうしてもワンマン運営になること多し
- 13. 12. 25 地方にUターンの有識者が地域貢献しようと思っても地域はその人を理解せず
- 13. 10. 03 祭りの昔と今、その意味は

◆ 16. 人間

- 14. 02. 10 懇親・交流も人とのつながりの役目がありながら
- 13. 09. 15 人の評価について、現役時代に作られた評価が一生ついて回る
- 13. 08. 17 人はどのようにして評価されるのか
- 13. 07. 25 物の借り貸しについて、しないほうがお互いのため、気が楽
- 13. 07. 24 女性は感情的といわれるが本当だろうか、感情や行動における男性と女性との違いをみる
- 13. 07. 07 自分と同じような人間が脚光を浴びると、やっかみと妬みが渦巻く

◆ 人間

- 13. 02. 14 人間、年を取るとともに渋さやうまさが増えるもの
- 13. 01. 15 町内会の企画運営といえども、スタッフの人格尊重は必須条件
- 13. 01. 14 自分を誰かが（気に留めて）見ているものである
- 12. 12. 11 行事において人との協働には人格尊重を

- 12. 11. 30 推薦文作成には推薦人の力量が試される
- 12. 11. 21 人間の感覚や反応は蓄積された体感の記憶によるものである
- 12. 10. 16 シルバーの役割とは如何に、若者とはりあうのではなく
- 12. 10. 07 貫禄って年を重ねるに従い自然と出てくるもの
- 12. 09. 20 本能の攻撃性を理性で抑えることの是非
- 12. 06. 29 シルバーとしての役割とは何か
- 12. 06. 22 田舎は都会にあこがれる、いまでも
- 12. 04. 13 面接にて、私を審査する人を私が審査する
- 12. 03. 28 団塊の世代の責任
- 12. 03. 26 世の中を悪くするのはヤンキーでなく大人か
- 12. 03. 07 団塊世代が今一度世間にももの申す
- 12. 02. 19 田舎と田舎人
- 12. 02. 17 未婚者急増に思う。人を愛するとか共に感動しあうといった感情は大丈夫か
- 12. 01. 31 愚痴を聞くとは
- 12. 01. 09 田舎で暮らしたいと思うだけでも

◆ 17. 市民

- 13. 03. 26 将来のことは市民が考えていくものであり、企業だけが考えるものではない
- 12. 12. 27 市民の声を市民・行政とで練り上げるべし、それが市民参加の行政
- 12. 12. 25 地域でいくらがんばっても大学教員でないと県の審議会のメンバーにはなれない
- 12. 04. 14 行政の審議会や委員会の委員を公募。連戦連敗の日々。
- 12. 02. 05 市民は専門家に対して声を大にしていうべきことをいう
- 12. 02. 03 市民の声は熱くかつ重いもの
- 12. 01. 21 地域ボランティアで実践活動の方々と理屈の方々とを結ぶには

◆ 18. 若者

- 13. 02. 16 若い方々が安易な選択に走るのは社会に強いられているのか
- 12. 06. 25 最近、突っ張った生徒をあまり見かけなくなりましたが
- 12. 04. 29 最近、春山でワイルド派の無謀な人をみかけない
- 12. 04. 12 若者を取り巻く環境。効率優先の改善として
- 12. 03. 19 講演会などの企画に若い方が出ておられない
- 12. 01. 07 若者は新聞を読まなくなっているって
- 11. 12. 10 若い方よ目的を持つべしというが
- 11. 12. 09 若者には独創性や個性がないというが

◆ 19. 子ども

- 13. 03. 19 子供は発想と表現を磨き、大人はそれを支援すべきだが
- 13. 02. 26 子どもをのびのびさせる仕組みづくりについて検討こと始め
- 13. 02. 18 子どもが群れて遊ぶのと子ども集団スポーツの違いは何か
- 12. 12. 29 こどもの声は騒音にはあらず、こどもの声は騒音でないをドイツで法律制定
- 12. 12. 09 こどもは外遊びをとおして育ていく
- 12. 11. 22 子供を取り巻く環境はすこぶる劣悪に向かっている
- 12. 07. 12 こどもの環境はもろもろから見直すべし、雑感
- 12. 04. 27 子供と大人が一堂に集まって子供が投げかけた質問が「大人って何」
- 12. 04. 24 「おもちゃ」について考える
- 12. 03. 14 こどもを中心にした地域づくり、教育的視点で
- 12. 03. 11 子どもには、もっと自然に触れさせる！！
- 11. 12. 13 子どもに一芸を求めているが
- 11. 12. 12 子どもに今必要なことは、小さな目的を早くから持たせることの功罪

◆ 20. 社会通念（市民感覚）

- 13. 02. 03 観光地の評価に県外ナンバーの数を持ち出すなんてナンセンス
- 12. 11. 23 女性研究者、民間ではいまだ男女均等にあらざ
- 12. 11. 15 批判は精神環境保全に悪いという理屈があるって
- 12. 11. 14 何事にも上部機関にお伺いを立てる風潮とは

- 12. 11. 13 会議に遅刻しても平気、そんな遅刻者を待って会議を開始
- 12. 11. 12 締切日が守れないこと多々あり
- 12. 10. 15 何かにつけ説明責任というけれども、必要なのは議論ではないのか
- 12. 10. 08 都合のいい責任追求がまかりとおりで、事があっても責任を取らない、不思議な責任論
- 12. 08. 27 誤ったことが客観的事実に変貌していくこともあり
- 12. 08. 16 社会通念に照らしてすれすれに仕事をする企業あり、倫理はここにも必要なり
- 12. 08. 13 知る権利と説明責任、その前に公開が先行すべき
- 12. 08. 08 犠牲は当たり前という考えは一方的で許しがたい
- 12. 08. 06 「不安をあたえてとか迷惑をかけて」という言葉が本質を覆い隠すように使われている
- 12. 06. 28 懇親会で少しでも売り込もうとしてほかの出席者を蔑ろに
- 12. 06. 26 挨拶はマナーでなく金次第とっているが
- 12. 06. 12 危険負担と自己責任、都合のいいように運用が押し付けられている
- 12. 05. 29 「ばかばかしい」とか「ばかになる」とはどんなことか、背景を探る
- 12. 05. 21 いまだに長所短所を言わせる意図とは、
- 12. 04. 16 職場懇親会で今でも遅刻者に寛容なのはなぜ
- 12. 03. 21 偉い方が若い方を束縛する日本的慣行
- 12. 02. 07 世の中にある固定概念に種々遭遇したこと多数あり。遭遇は極わずかな人のみか。

◆ 21. 意識

- 14. 01. 12 飲むと鋭い意見を言うのにフォーマルでは何もいえないのはなぜ
- 13. 11. 27 仕事で自分あるいは自我を出すとはどんなときか
- 13. 11. 26 椅子が人の意識を変える、居丈高・傲慢意識の根源はそこに
- 13. 11. 19 意識上の公私混同、重要職についていた方ほど退職後に居丈高となって現れる
- 13. 11. 13 若者の意欲を育成せずに若者の意欲を育成せずにミスマッチ防止という背景にあるものは
- 13. 08. 14 面倒見がいいのとおせっかいは人のためならずっていいですね
- 13. 08. 01 遠慮という自己制御が社会における市民軽視に一役買わされている
- 13. 07. 20 自分のテリトリーが自室から地域まで広がっていることを、何となく実感することがありました
- 13. 07. 06 自分の目指していることや考えていることの紹介は結構難しい

◆ 思考

- 13. 03. 16 造形技術の恩恵により思い付きアイデアがいとも簡単に形にできるようになり始めているが
- 12. 12. 23 点検の意味を理解せずマニュアル運用のみでは大変なことになる。住宅の換気扇の例
- 12. 08. 09 若い方の（就職）推薦文を書くって難しいものですね
- 12. 07. 19 レポートを書き上げてほっとするのは格別いいものです。
- 12. 07. 05 理窟では分かっているとはどんなこと
- 12. 05. 20 書き物を残す意義。雪ん子のブログ 102 本目
- 12. 03. 10 技術や教育は人間にかまいすぎ！！
- 12. 02. 22 シロウトより学ぶ、ええーっ
- 12. 02. 21 本と親しむ、なぜ
- 12. 02. 11 知的アイデアは誰のもの
- 12. 02. 04 新概念好きの風潮に思う、科学の分野で
- 12. 01. 30 住む世界が違うとは何を意味するのか
- 12. 01. 20 県外人と県内人、新参と古参、張り切る方と冷静な方、某県の場合
- 12. 01. 14 落書きについて、雑感
- 12. 01. 12 本やブログについて、なぜ読むのか、なぜ読んでいただくために書くのか
- 12. 01. 10 議論がかみ合わないとは
- 12. 01. 08 沈滞から繁栄へ、ベンチャーに学べなどといわれているが
- 12. 01. 06 すぐに県民性を問題にする県外人、某県において
- 12. 01. 05 地域活動に際して県内人と県外人の意識の違い
- 12. 01. 04 著名人を知っているだけで評価される土壌とは、聞いた話です
- 11. 12. 29 全体像をみる。仕事でも何でも。聞いた話です
- 11. 12. 24 無関心とは、防災教育から
- 11. 12. 19 学協会の市民向け取り組みについて思う

11. 12. 08 幸せ度評価の導入もいろいろが価値観評価の導入を

11. 12. 07 交流とっている割には内容が伴わず

◆ 22. コミュニケーション

13. 12. 22 ノミコミュニケーションも着座位置ひとつで雰囲気が変わりますね

13. 11. 25 人の話はその場で聞くのが一番、講演会やシンポのライブ中継にものたりず

13. 11. 20 自分の主張を多くの方々に如何に知っていただくか、その方法は

13. 11. 18 講演会で質疑応答に長々しゃべる質問者がいて困る。それならしゃべり場を持つては

13. 11. 12 集まりにてひとつのテーマでコミュニケーションが可能なのは人数にして7-8人である

13. 10. 28 座談会の効用について、多くの方の参加による密なコミュニケーションのキャッチボール

13. 10. 05 スピーチは気取ったコミュニケーションの様相あり

13. 08. 21 市民向け意見交換会で多様な意見がでてかえって意見のすれ違いが面白かった

13. 07. 23 コミュニケーションは互いに顔を見あっていたいものである

13. 07. 02 相手と共に語り合うっていいものである

◆ コミュニケ

12. 08. 22 話し手の思うことを聞き手に鵜呑みにさせるレトリックに注意

13. 03. 15 将来の生活スタイルについて各分野の方々が一堂に会して話し合ってみては

13. 02. 28 「ことわざ」とは急いで判断するときに理解を求める便法だが、使用に際しては人との繋がりが要

13. 02. 21 メールでは真意が伝わらないばかりか誤解されることがしばしば

13. 02. 17 交流をもっと実のあるもの盛り上がるものにするためには

13. 01. 31 挨拶ひとつとってもコミュニケーションの難しさが

13. 01. 20 コミュニケーションには疎と密があり、我ら対人会話でも使い分けている

12. 12. 21 パートでも忘年会に呼んでいただけるなんて

12. 12. 12 守衛の方が挨拶をしても知らぬ顔の方多し、その意味は

12. 12. 03 メーリングリストを活用して意見をいつでもいい言い合えることにしたいものです。

12. 11. 26 話が面白いとはどんなことをいうのか

12. 09. 28 大人どうしても挨拶がないこともある

12. 09. 26 講演会でフロアとの意見交換を避けたがる主催者

12. 09. 25 講演あとの感想アンケートに思う

12. 07. 26 若者は今に飽き足らず明日を創る、コミュニケーション広場づくりから

12. 06. 18 コミュニケーションは側にいる方から。コミュニケーションの形態

12. 06. 15 あいさつ運動もうわべだけにおわらせない

12. 05. 25 最近では懇親会にはまっています。

12. 05. 23 コミュニケーションにおいて人のことが気になるとは

12. 03. 31 農業の根幹にコミュニティの理解が要

12. 03. 30 食と家庭のコミュニティ、まちづくり

12. 02. 16 挨拶も度が過ぎると邪さを感じられる

12. 01. 26 コミュニケーションは難しいものだからこそ、教育視点で

12. 01. 11 コミュニケーションって本当は難しいのでは

11. 12. 25 講演会で議論なしにおとなしい奥ゆかしさとは。聞いた話ですが

◆ 23. 生活

13. 11. 24 ものを計るということは生活の感覚育成そのもの

13. 08. 05 スタイリストは黒の服が似合いますね

13. 05. 13 メールでは、勝手に思いこんで読む方が勝手に誤解を膨らますことあり

◆ 生活

12. 11. 20 明日に向けてのスタートラインに立つ心境とは

12. 01. 01 正月、のんびりと

11. 12. 31 飲み会がこの頃少なくなっている

11. 12. 22 住む世界の壁（枠）が硬いということは。聞いた話ですが

11. 12. 21 著名人への手紙の送受で周りの反応がおもしろかった

◆ 24. 仕事

14. 03. 30 学生バイトに思う、使われたていた時と使っていた時、449

13. 12. 27 皆さん、仕事の合間をどうやってくつろいでいますか
13. 10. 30 仕事をしている振りをするのが仕事であり、沈黙思考は遊びという雰囲気が蔓延
- ◆ 仕事
13. 03. 25 仕事関連の横つながりを若返らせるには
13. 03. 18 人型ロボットの導入でますます問われる人間にとっての仕事とは
13. 01. 28 ボランティアといえども仕事としての責任と義務がある
- ◆ 25. 連携
13. 02. 05 ボランティア活動で独自路線を貫きながら連携を考えてはどうか
12. 09. 19 ボランティア団体でももっと広がった連携をしたいものです
12. 09. 11 同じ類の方の集まりでも、集まりが自ら触手を持てば多くの集まりがつながる
- ◆ 26. スポーツ、体
12. 06. 20 運動をしなくなると筋肉が退化か
13. 02. 11 集団スポーツは日常社会の縮図をルーツとしているのでは
13. 02. 07 もともとスポーツは暴力性をベースにしているのでは
13. 02. 06 女子柔道界の暴力事件について
12. 04. 07 スポーツを親しむ環境づくり、生活の視点から一言
11. 12. 30 ランニングで沿道の方々とのコミュニケーションを楽しんでいます
- ◆ 27. 娯楽
14. 01. 30 TVドラマ制作には状況設定にも考証が必要では
14. 01. 10 歴史ドラマTV番組「八重の桜」を批評する
13. 08. 07 歴史ドラマに制作者が結構力を入れる訳とは
- ◆ 娯楽
12. 12. 14 子ども向けアニメ映画の楽しみ方とは
12. 11. 28 TVのドラマがつまらなく感じるのも生活にゆとりがないからでは
12. 07. 24 TV離れも人とのかわりを避ける延長線上か
12. 03. 13 芸能人は一般に勤がいい。大工をさせても抜群
12. 01. 24 口コミランキングについて思う
12. 01. 16 地元で撮影の映画「railways」が我らの生活空間と協奏
12. 01. 03 TV、ドラマよりもバラエティばかりの今日この頃
11. 12. 20 映画やTVでの評論や解説のおしつけ